

# 学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	理科(物理基礎)		授業者	青木 啓晃
日時	平成28年 7月15日(金) 第4限		対象・場所	対象:1年9組 場所:1年9組
単元 本時の位置	第2章 運動の法則 2 力のつりあい(4時間) 力のつりあいグループ型問題演習(4時間目)			
論理的思考 の観点	① 規則, 定義, 条件等を理解し適用する。 ② 必要な情報を抽出し, 分析する。			
指導 計画 ・ 本 時 の 過 程	導入	前時までに学習した「力のつりあい」の小テストを行う。(5分)		
	展開	<p>① 小テスト1の解説を行う(講義形式)。(5分) 詳しくすべてを説明するのではなく、生徒が考え、互いに教え合えるように最低限の手順のみを解説する。</p> <p>② 4～5人グループを作り、グループ内で小テスト1の解説を行わせる。(10分) グループごとに小テスト1を解説させ、どこが分からないのか、どうしたら分かりやすく説明できるのかを考えさせる。</p> <p>③ 類似問題をグループで解かせる。(20分) 類似問題を2問追加し、班ごとに解答させる。残り時間を細かく提示し、各班の進捗状況をこまめに把握する。遅れている班には声をかけ、時間内に類似問題2問が終わるように促す。</p>		
	まとめ	グループで問題演習を行い、解説を行う、解き方を教わる中で、「力のつりあい」を考える上でポイントになるところをまとめさせる。		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「力のつりあい」のポイントを正しく理解している。</li> <li>・「力のつりあい」の問題を解くことができるようになる。</li> <li>・学習活動に意欲的に参加している。</li> </ul>			
反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで説明をさせることで、解説する生徒も「力のつりあい」のポイントがどこにあるのかを考えることができ、解き方を教わる生徒とともに深い理解へとつながっていた。</li> <li>・グループ分けをするときに班員の構成を工夫するともう少し効果のあるグループワークになる。</li> </ul>			